

調査団体名	達目洞(だちぼくぼら)自然の会	団体代表者名	取材先・話し手:加納一郎(事務局長)
設立年	2002年	団体URL	http://gifu-nature.net/html/org/datsuboku.html
活動地域	岐阜市達目洞・逆川(さかしまがわ)上流	調査員	山崎、小西、門田、田村、茶原、浜口、近藤、曾我部
取材日	2010/7/27	レポート作成者	曾我部行子
道路設計を変えたヒメコウホネと共に			
<p><立ち上げの経緯と活動内容></p> <p>1992年、達目洞自然の会代表の成瀬さんによりヒメコウホネ確認。当時は、岐阜県環状線道路計画が進んでいた。何とか守れないかと加納一郎さんたちは、「岐阜・まちづくりの会」でヒメコウホネ観察会を始めた。県知事宛に「岐阜県環状線計画変更の意見書」を提出。その後も、県知事・市長宛に「だちぼく水田公園」と「金華山自然公園」についての提言と要望を提出するなどの活動を展開。何度か岐阜建設事務所・施工者より施行計画について説明を受けながら、設計の変更にこぎつける。</p> <p>2002年、「達目洞自然の会」が発足。2007年、ヒメコウホネ自生地が条例に定める「達目洞ヒメコウホネ特別保全地区」に指定。2008年、「達目洞(逆川上流)」が環境省の「平成の名水百選」に認定。</p> <p>現在は、○絶滅危惧種ヒメコウホネの保全 ○湿地環境の再生・復元 ○外来植物の除去 ○達目洞の自然観察会 ○休耕田のお米づくりなどに取り組んでいる。</p>			
<p><会のモットー(何を大切にしているか)></p> <p>隔離して守るのではなく、人が訪れることで保全されるような場所にしたい。</p>			
<p><設立から現在に至るまでに変化したこと></p> <p>道路建設の反対運動と観察会を並行して行う市民による保全活動に端を発して、今は、岐阜市自然環境課と共に保全していく場所となった。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>○岐阜市自然共生部自然環境課 ○環境市民ネットワークぎふ</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <p>達目洞自然の会の主要メンバーには動植物の専門家がいて、随時専門的な調査や検証を実施している。</p>			
<p><現在直面している課題></p> <p>訪れる市民が、もっと増えてほしい。人が来ることでこそ守られると思っている。</p>			
<p><今後やってみたいこと></p> <p>人が来たときに案内できるよう人を増やしたい。最終的には、ここを公共用地にしたい。</p>			
<p><そのためにはどんな情報・人脈が必要か></p> <p>貴重種のヒメコウホネだけがあるのではないことを知ってほしいので、そのための広報が必要。</p>			
<p><その他、調査団体からのメッセージ></p> <p>40万都市の岐阜市の中心市街地から10分ほどの場所に、このような里地が残されて(保全されて)いることも意義深いことではあるが、利便の象徴である道路(高架橋)とそれ以前からある里山環境が共存していることに意義がある。</p>			



利便の象徴である道路と里山環境の共存



加納さん(左から2番目)を囲んで

<執筆者の感想(心に残ったこと)>

ヒメコウホネの自生地とその生育環境周辺を守りたいという運動は、愛知万博計画から海上の森を守った運動と非常に似通った経緯をたどっている。そのため、ついあれこれを比較してしまった。

道路そのものの計画がなくなったわけではなく、設計デザインが変更されることで決着し、その後、保全地区として行政と共に保全が行われていることなども共通している。違うのは、当時反対運動をしていた人たちが、今も中心になって活動を続けているということである。このことは、やはり重要な点であろう。

民有地であるため、従来から住んでいる住民に気を使い、共に歩んでいくための目線と気配りが必要とされている。「共に」と言うは安い、実際には難題であり、時間が必要な課題である。

今後の課題かと思われたのは、自然調査の活動がやや低調のようなことである。自然観察から調査へとつなげるのは市民がボトムアップする必要があり、簡単ではないが得意な人たちを呼び込みながら、植物、トンボなどの虫、水生昆虫など調査をすれば、さらに生物の多様性が浮かび上がることだろう。また、子どもたちや家族が遊ぶには最適な場所なので、人の訪れを期待するなら、子どもと家族連れをターゲットにするのがよいだろう。豊かな水に恵まれた水辺の良さがもっとアピールされていくことが望まれる。

(現在、岐阜市立幼稚園の遠足や企業などの受け入れも積極的に実施している。その成果として、通常の活動に子どもたちやその親の参加も増えている)